

『証券経済学会年報』執筆要項《招待論文用》

1. 表紙：論文タイトルを日本語で記す。
2. タイトル：著者名、所属および論文タイトル(副題がある場合は副題も)を日本語で記す。
3. 長さ：招待論文の長さは、原則として 20,000 文字以内とする。
4. 言語：論文は、現代国語文(「・・・である」調)で書かれていることを原則とする。なお、英語でも可とし、その文量は 7000words 程度とする。その際、英文のネイティブチェックは投稿者の責任で行なうものとする。

5. 本文の形式

(1)タイトル等：本文は 2 枚目からとし、2 枚目のはじめに、「タイトル(副題がある場合は副題も)」、「著者名」「所属先」を掲載する。

(2)分類方法：大項目〔1. 2. 3.・・・〕、中項目〔(1)(2)(3)・・・〕、小項目〔(a)(b)(c)・・・〕の順で用い、それぞれなるべく表題をつける。なお、表題は MS ゴシック 10 ポイントで記述すること。

(3)図表：

- ・タイトルは簡潔に図表の上に明記する。
- ・番号は図 1、図 2、表 1、表 2、・・・とし、初出よりの通し番号とする。(項目ごとに番号を付さない)
- ・出所は必ず付記し、資料提供者(会社名)が判明しているものはそれを記し、次の例に従い図表の下に明記する。(外国語の書名はイタリック指定)

〈例〉

—単行本の場合—

(出所)相沢幸悦『現代ドイツの金融システム』, 東洋経済, 1993 年 6 月 10 日。

(出所)Goff, T.G., Theory and Practice of Investment, Heinemann, 1997, p. 50.

—雑誌あるいは単行本中の一論文を示す場合—

(出所)佐賀卓雄「アメリカの証券会社」『証券経済研究』第 2 号, 1996 年 7 月, 44 頁。

(出所)Galai, D., “Tests of Market Efficiency of the Chicago Board Options Exchange,”
The Journal of Business, 1997, Apr, pp. 90-92.

—参考文献を記載している場合—

(出所)佐賀〔1996〕, 44 頁。

(4) 数式の番号： 数式の番号は通しでつける。

(5) 注：

・本文中に肩つきに 1)、2)、3)、の形で示し、大項目末尾にまとめる。

<例>……………発行額面は 1,000 ドルである 1)。

・書籍雑誌名の記載方法は、図表の出所例に準ずる。

(6) 参考文献： 参考文献は、末尾に一括して記載する。順序は、日本語、外国語の順とし、著者名で、日本語のものは「アイウエオ」順、外国語のものは「ABC」順に並べる。

なお、同じ著者で、同じ発行年の参考文献がある場合は、発行年に、a, b, ……を付けて区別すること。

記載方法は、単行本の場合：著者、〔発行年〕、題名、出版社名の順とし、題名には日本語の場合は『』を付け、外国語の場合はイタリックにする。

<例>

相沢幸悦〔1993〕, 『現代ドイツの金融システム』, 東洋経済。

Goff, T.G.〔1997〕, Theory and Practice of Investment, Heinemann.

雑誌の場合：著者、〔発行年〕、論文題名、巻、号、頁の順にし、日本語の場合、論文題名に「」、雑誌名に『』を付ける。また、外国語の場合、論文題名に“ ”を付け、雑誌名は、イタリックにする。

<例>

佐賀卓雄〔1996〕, 「アメリカの証券会社」『証券経済研究』第2号, 7月, 44 頁。

Galai, D.〔1977〕, “Tests of Market Efficiency of the Chicago Board Options Exchange,” The Journal of Business, pp.90-92.

インターネットからダウンロードした場合：

・論文の場合：著者、〔発行年〕、「タイトル」、論文のシリーズ名および号数(例えばディスカッション・ペーパー・シリーズ、No. 1)、論文を掲載している組織(例えば××大学)。(URL)の順にする。

<例>

Healy, P.M. and K. Palepu〔2002〕, ” Governance and Intermediation Problems in Capital Markets: Evidence from the Fall of Enron,” Harvard NOM Working Paper No.02-27, Harvard Business School. (http://papers.ssrn.com/sol3/delivery.cfm/SSRN_ID325440_code020903590.pdf?abstractid=325440)

・ホームページの場合：組織名、「タイトル」(URL)。

〈例〉

東京証券取引所,「決済制度」(<http://www.tse.or.jp/cash/clearing/index.html>)。

(7)謝辞： 謝辞で先生方の氏名を記す場合は、〇〇〇〇氏とし(大学などの所属はつけない)

6. 提出方法：作成した原稿は Word のまま、メールに添付して学会事務局宛てに提出する。

学会事務局メールアドレス **sess-jimu@jsri.or.jp**

7. 著作権：著作権は証券経済学会に移譲される。